部活動地域移行・連携を行う意義と目的

1　何のために行うのか。

○白石町でも生徒数減少が予想される中、将来にわたり中学生が町内でも、スポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会と場所を確保する。

○学校教育あるいは地域における青少年スポーツ・文化活動の関係者がそれぞれの立場で連携・協力しながら、「ひっきゃで」学校部活動と地域クラブ活動の推進を図る。

○「スポーツ・健康増進のまち宣言」の一翼を担う。

白石町は、町民全てが健やかで心豊かに暮らすことを願い、スポーツ・運動を通して健康を育み、はつらつと元気で活力のある町を目指すことを、ここに宣言します。

２ 「部活動地域移行・連携」を推進する過程での重要課題

(１) 財源確保

⇒保護者・生徒の「受益者負担」：指導者謝金などの一定の財源負担

(2) 「受け皿」組織・体制の整備

⇒白石町スポーツ協会（スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等）の組織体制の整備と拡充

(3) 地域指導者のさらなる発掘と育成　＊教職員の「兼職兼業」整備

⇒「地域指導者　募集中」（スポーツ分野、文化芸術分野ともに）

３ 意義と願い

〇 部活動の地域移行・地域連携の第一義は「町民の豊かな生涯学習・生涯スポーツ環境」の構築にある。

〇 これらが達成できたとき「教職員の働き方改革」「負担軽減」につながる。

令和６年度新白石中学校部活動開設について

１　休日実施の部活動は、**令和8年度までに全種目**、学校と連携して**「地域主導で行える体制」**を確立する。（地域指導者が中心となって活動できる）

２ 令和5～7年度の3年間を**「段階的な移行期間」**とする。

３ 令和6年度開校時に開設する中学校の部活動は、下記のいずれかとする。

「資料３」
種目・男女別

○ 現在３中学校に設置されている９種目１３部は、原則、開設する。　（＊吹奏楽部、美術部）

軟式野球、陸上競技、バレーボール【男・女】、バスケットボール【男・女】
卓球【男・女】、ソフトテニス【男・女】、剣道、ソフトボール、サッカー

※令和８年度以降は、休日の活動は地域主導で行うことが前提）

○ 令和８年度以降、大会を含め、休日の部活動を行わない種目等

インクルーシブスポーツ、レクリエーション、スポーツを楽しむ習慣づくりを目的とした活動 など

令和6年度新白石中学校部活動開設について

1 「学校」部活動開設における原則

・休日に行う部活動の「地域移行の見通しが立つ種目」
　＊（地域指導者が中心となり活動できる）
・令和８年度以降に大会を含め、休日の部活動を行わない種目
【検討】指導者として教職員と地域指導者が配置された種目

2 令和5年度開設した部活動（＊拠点校部活動を含む）

【令和４年度　モデル種目】
＊指導者の理解が進み、開設が可能?!
　〇軟式野球
　〇陸上競技
　〇バレーボール（男女）
　〇バスケットボール（男女）
　〇卓球（男女）

△ソフトテニス（男女）…ソフトテニス指導者と練習実績あり
〇剣道…もともと地域移行（道場等）が基盤。組織体制づくり…
△ソフトボール（女）…白石中や有明中で社会体育と連携実績有り
〇サッカー…地域指導者と部活動顧問との連携で実施
◇吹奏楽…音楽科教員の主導で実施。専門的な知識と技能が必要
◇美術…美術科教員の主導で実施。休日の活動は原則なし。
〇【例】ボッチャ部…**運動が苦手な生徒や特性のある生徒の参加**

3 地域クラブ活動として推奨する種目

バドミントン…総合型地域スポーツクラブ　　弓道・柔道・ダンス…スポーツ少年団
ハンドボール…「SAGA部活　融合型-学校拠点方式⇒佐賀農業高校+地域クラブ活動）

令和6年度以降　新白石中学校の部活動・地域クラブ活動のあり方

部活動

曜日	月	火	水	木	金	土、日
部活	○	○	休	○	○	休

地域クラブ活動

曜日	月	火	水	木	金	土、日
地域	休	○	○	休	○	◇

部活動と地域スポーツクラブ　併用型

時間	曜日	月	火	水	木	金	土、日
16:00～18:00	部活	○	○	休	○	○	休
19:00～21:00	地域	休	○	○	休	○	◎

いずれか

【施設の有効利用】
学校から他の会場に移動

社会体育館　旧中学校体育館
町テニスコート　総合運動場　他

子どもたちのスポーツに継続して親しむ機会の確保

- ○地域クラブ活動による学校閉庁期間や長期休業期間の活動継続
- ○複数の種目を体験できる活動
- ○レクリエーション的なスポーツ活動
- ○シーズンオフ制度（＊冬季の日没が早く活動時間が短い期間に）
- ○適切な休養日の設定（週3日間行った技術練習でも、将来にわたって生きる。）